

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	詳細は、看護学実習要項に記載する。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	加齢による心身の変化や高齢者の生活機能の捉え方、高齢者看護等、成人・老年看護学概論及び老年看護方法論で学んだ知識の復習を要する。			
テキスト	小山幸代:老年看護技術(看護実践のための根拠がわかる),メディカルフレンド社,2015 大渕律子:老年看護学—老年看護の実践(ナーシング・グラフィカ)メディカ出版,2005			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本バリデーション協会監修 「見当識障害のあるお年寄りとの新たなコミュニケーション法 バリデーション」 DVD 26分 エドワードファイルプロダクション制作「バリデーション入門」DVD 25分			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	認知症高齢者グループホーム、介護型ケアハウス、特別養護老人ホームの3施設のいずれかの施設で実習します。それぞれ特徴がある施設ですから、日々のカンファレンスや最終日の学内まとめの時を活用して、自分が実習しない施設のことも、特に法律的な規定や施設の機能について十分理解を深めるようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	実習初日に行なわれる各職種の人々のオリエンテーション内容を十分理解した上で、実習に望んでください。日々、高齢者とかかわるなかで具体的に浮かび上がった生活像を最終レポートに活かしましょう。評価は「老年看護学実習Ⅱ」の評価表に基づき評価します。提出された事前学習やレポートとその他(施設に入所する高齢者のライフレビュー やチームの一員としてのケアへの参加度)によって評価します。			